

# 年頭のご挨拶



蒲郡市長 金原久雄

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。おかげをもちまして「市民の皆様の声を大切にする市政」を着実に進めることができましたことを心から感謝申し上げます。新年を迎えて、新たな思いで蒲郡市を更に発展させ後世に引き継ぐ責任を強く持ち、現状をしっかりと見極め、市政運営に取り組んでまいります。

本年におきましても、国と地方の税財政改革による補助金削減など本市の財政状況は、依然として厳しい状況にありますが、市政全般にわたり可能な限り見直しを行い、少子・高齢化対策に対応した福祉や教育、環境整備など市民生活に直結した分野の取り組みを優先的に進めてまいります。

平成十二年四月にスタートしました介護保険制度ですが、昨年の制度改革により、今年四月から再スタートすることになります。

制度改革の主なものとしては、高齢者の誰もが住み慣れた地域でその人らしい生涯を送れるように地域ぐるみで高齢者の生活を支える体制が必要とされました。又、高齢者が要介護状態にならないよう、日常的な健康管理や予防対策が必要となってきており総合的・包括的なマネジメントを行う地域包括支援センターを構築していきます。

一方、健康で元気な高齢者の皆さんへの対策として、健康づくり・生きがいづくりや積極的な社会参加が促進されるよう介護予防の普及啓発に努め、皆さんのニーズを的確に捉え、必要とされるサービスを提供してまいります。

本年も創意と工夫を重ね、経験豊かな皆様のお知恵をお借りしながら、市民福祉の向上に勤めてまいります。変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

蒲郡市老人クラブ連合会  
会長 吉見敏雄

新年あけましておめでとうございます。会員のみなさまには清々しく新年をお迎え、ご健勝のことと心からお祝い申し上げます。日頃は、蒲郡市老人クラブ連合会の運営につきまして、温かいご理解と格別のご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。さて、我が国の社会は急速な少子高齢化が進み、社会は今、大きな変革期を迎えています。又、行財政においては長引く経済不況に加え、国、地方自治体の財政事情の悪化がすすみ、介護保険の見直し、年金制度の見直し、税制の見直しなど、多くの課題の解決に向け検討がなされようとしています。こうした状況の中、私達老人クラブは超高齢者時代を背景に、今日は何を成すべきかと、幅広く問われるとともに高齢者自ら結束して、社会の活力となることが急務と思われます。日々の活動は、現状の社会情勢を踏まえて高齢者の健康保持と増進をはかり、別居生活や寝たきりなど、いろいろな生活課題を抱える高齢者が増加している現状にかんがみ、介護予防、生活支援などの取り組みと一層推進していく必要があります。又、二十一世紀の地域社会の担い手として積極的に、健康、友愛、奉仕の三大運動を推進展開し、社会の要請に応えていくことが重要であります。おわりに臨み、会員のみなさまのご健勝とご多幸を心からお祈りし、併せて蒲郡市老人クラブ連合会の発展に、なお一層のご支援を賜りますことを切に望んで新年のごあいさつとさせていただきます。